

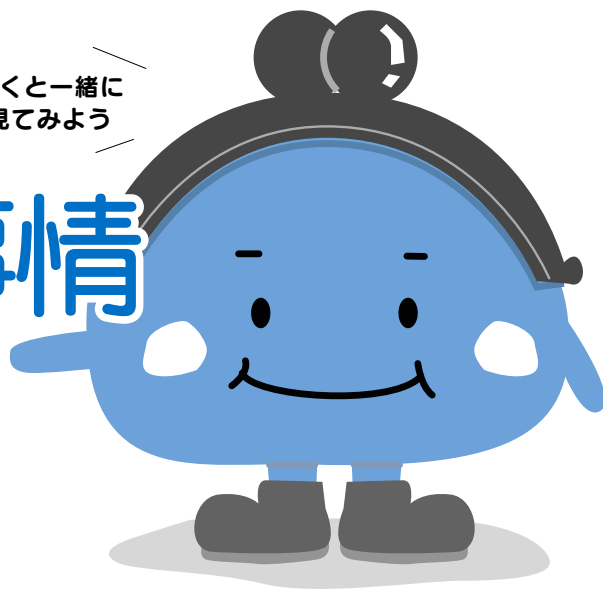
教えて!

ぼくと一緒に
見てみよう

札幌のお財布事情

市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、市民の皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。今回は、市の財政状況や平成23年度決算の概要をお伝えします。

このページに関するお問い合わせは企画調査課 ☎211-2216



札幌市の財政状況

財政指標

財政指標は良好。でも、安心はできません

自治体の財政状況が良好かどうかを示す指標として健全化判断比率(右表)があります。4つの指標があり、いずれも危険な水準を大きく下回っていますが、他の政令市と比べて市税など自力で得る収入が少なく、お金の使いみちの自由度が低くなっています。

財政力指数 0.691

標準的な行政サービスを行うための
お金を自ら賄える割合

経常収支比率 94.0%

市税など経常的に入る財源が、市債の
返済など義務的な経費に充てられる割合

政令市19都市中
18位

※政令市平均0.857

政令市19都市中
7位

※政令市平均94.7%

(平成23年度の政令市の決算)

〈健全化判断比率〉平成23年度決算

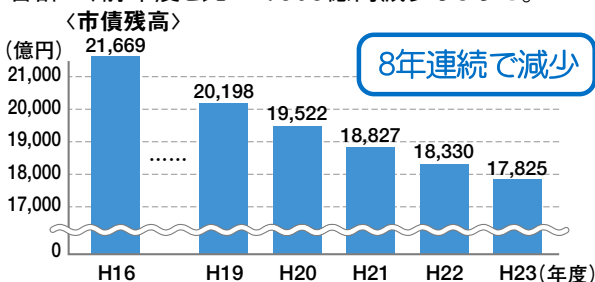
指標	内容	札幌市	危険信号 早期健全化 基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計の全ての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	9.1%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	101.9%	400%

※この基準を超えると、財政健全化のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります

市債

残高は1兆7,825億円。
着実に減らしています

市債とは市の借金のこと。一般・特別・企業会計の合計は、前年度と比べて505億円減少しました。



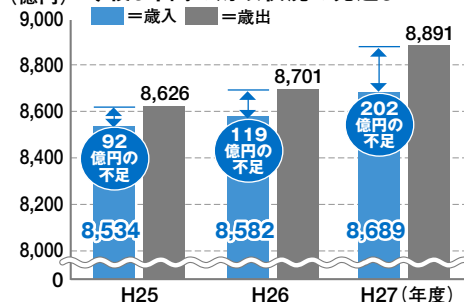
今後の見通し

歳入は伸び悩み、
歳出が増えていく

92~202億円の
財源が不足!

高齢化や景気の低迷などにより、市税などの収入が伸びない一方で、医療や福祉などに掛かるお金が増えていくため、厳しい収支状況が続きます。

〈今後3年間の財政状況の見通し〉



お金が足りない状況が続くため、お金の使い方や集め方の見直しを進めていきます

■市役所自らが努力して節約

事務を効率化するほか、
人件費の見直しを進めます

■サービスの見直し

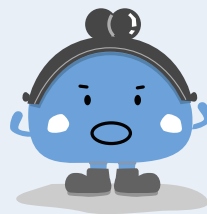
コストや利用者の負担に見合ったサービスの
提供を目指します

■事業の重点化

公共事業や臨時の事業は、計画に沿って
優先度の高いものから集中的に行います

■財産の有効活用

使う見込みのない市有地の売却などを
進めます



市はこれからも、
健全な財政運営の
ための努力を
続けていくよ